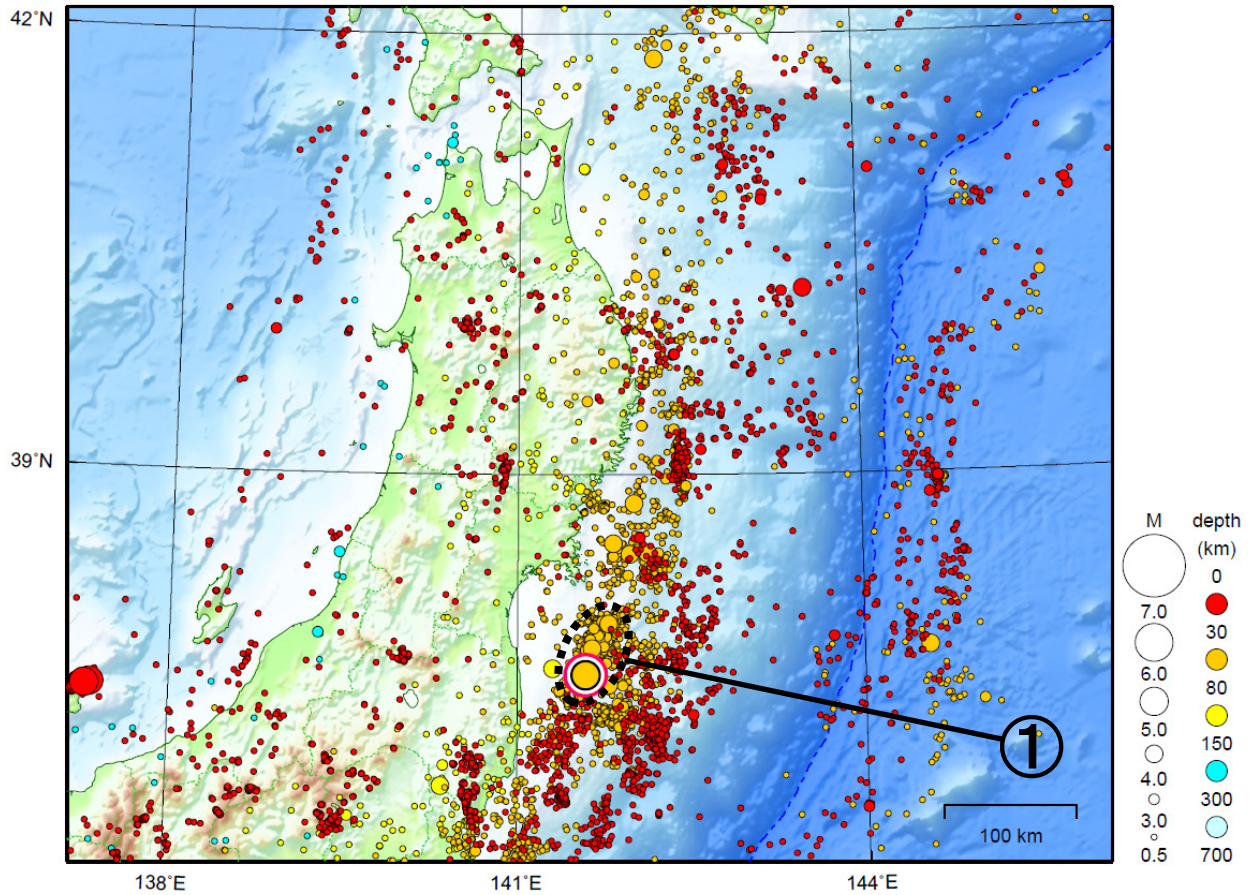


東北地方

2022/06/01 00:00 ~ 2022/06/30 24:00

N=10115



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 福島県沖では6月中に最大震度1以上を観測した地震が18回（震度3：2回、震度2：3回、震度1：13回）発生した。このうち12日のM5.1の地震により最大震度3を観測した。

宮城県沖で発生した地震を5回含む。

（上記期間外）

7月6日に宮城県沖でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

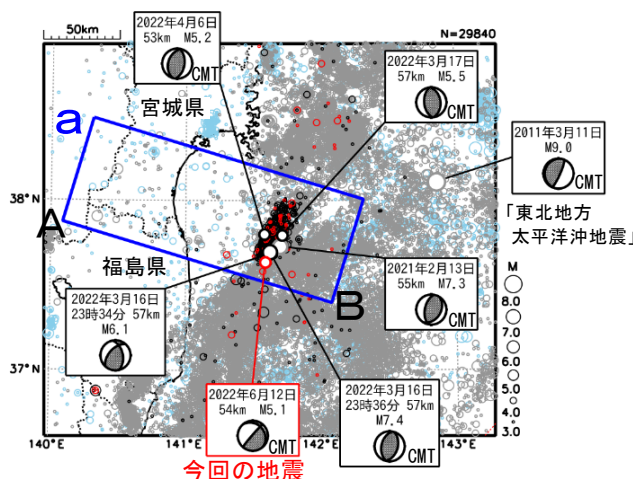
気象庁・文部科学省

6月12日 福島県沖の地震（3月16日からの地震活動）

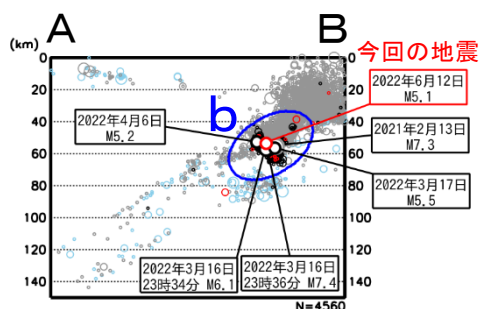
震央分布図

（1997年10月1日～2022年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ ）

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2022年6月に発生した地震を**赤色**で表示



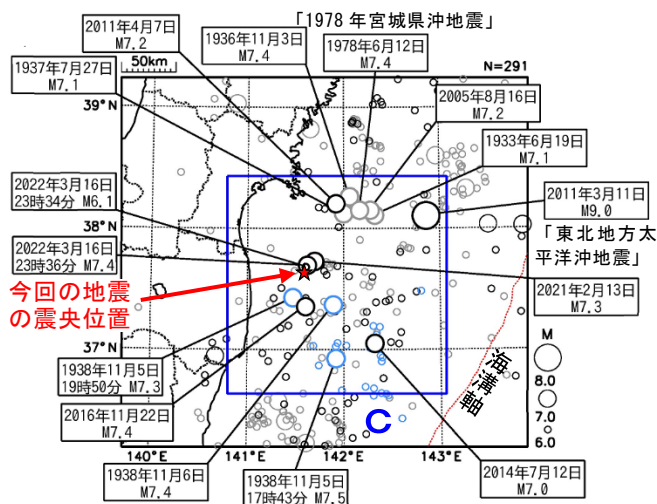
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

（1919年1月1日～2022年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ ）

1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
その他の期間を**灰色**で表示

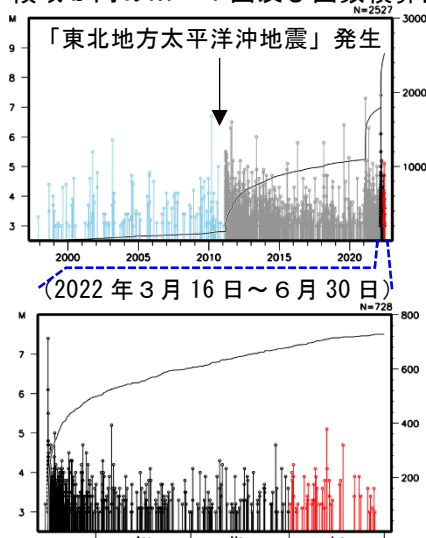


今回の地震
の震央位置

2022年6月12日21時45分に福島県沖の深さ54kmでM5.1の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。この地震の震源付近では、2022年3月16日のM7.4の地震（最大震度6強）の発生後、地震活動が活発になった。この地震活動により、震度1以上を観測する地震が、3月は107回、4月、5月、6月はいずれも18回、7月は8日09時までに1回（次ページ参照）発生するなど、地震活動は、当初に比べて低下してきているものの、依然継続している。

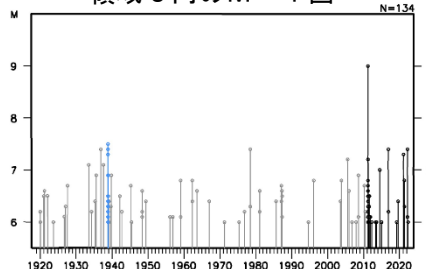
1997年10月以降の活動をみると、領域bでは「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM5.0以上の地震がまれに発生していたが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、宮城県花洲で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、同年11月30日までにM6.0以上の地震回数が増加するなど、福島県沖で地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

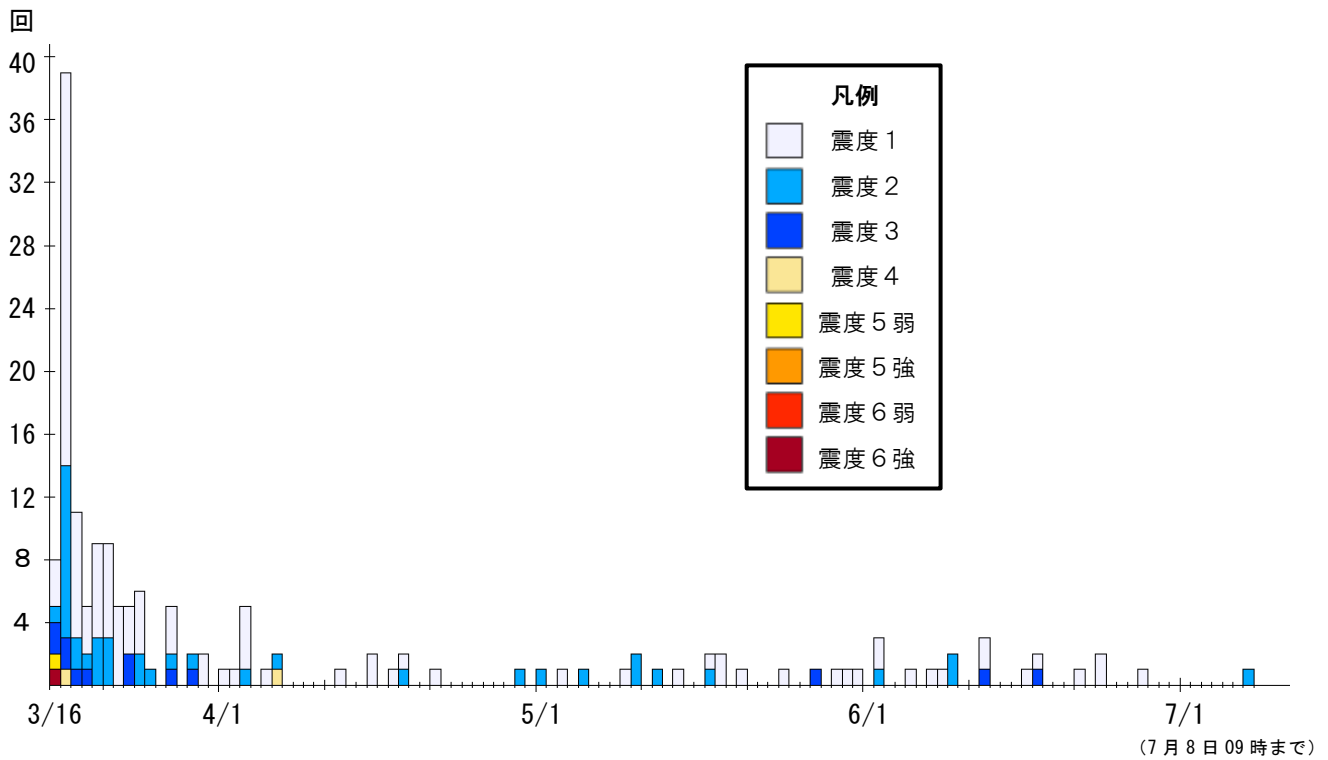
領域c内のM-T図



震度 1 以上の月別最大震度別地震回数表
(2022 年 3 月 16 日～7 月 8 日 09 時)

期間	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	累計
2022/3/16～3/31	68	26	10	1	1	0	0	1	0	107	107
2022/4/1～4/30	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18	125
2022/5/1～5/31	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18	143
2022/6/1～6/30	13	3	2	0	0	0	0	0	0	18	161
2022/7/1～7/8 (09時)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	162
総数	105	40	13	2	1	0	0	1	0	162	

震度 1 以上の日別地震回数グラフ
(2022 年 3 月 16 日～7 月 8 日 09 時)

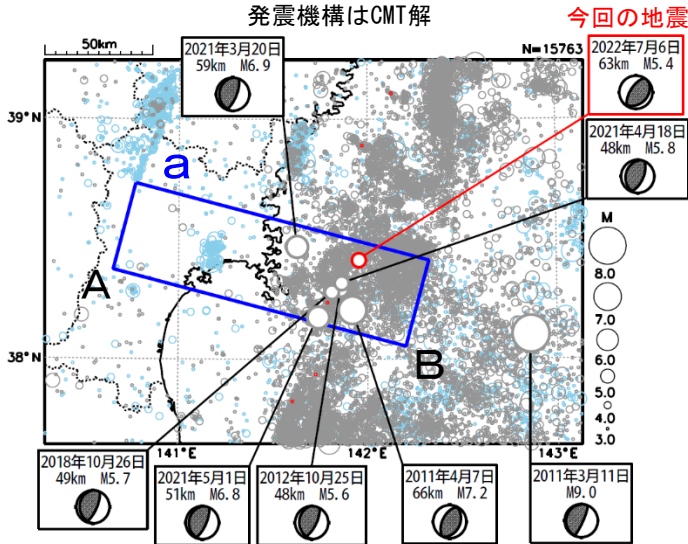


7月6日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2022年7月6日06時、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年7月に発生した地震を**赤色**で表示
発震機構はCMT解



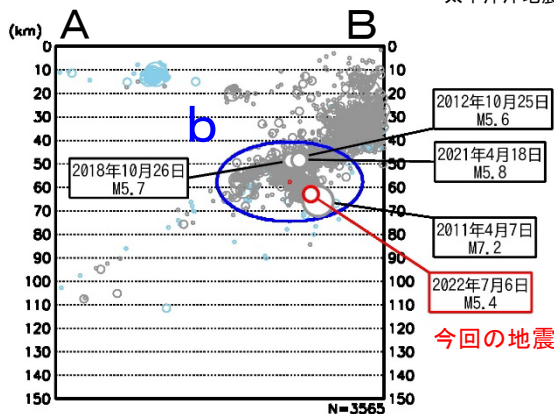
今回の地震

2022年7月6日05時10分に宮城県沖の深さ63kmでM5.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

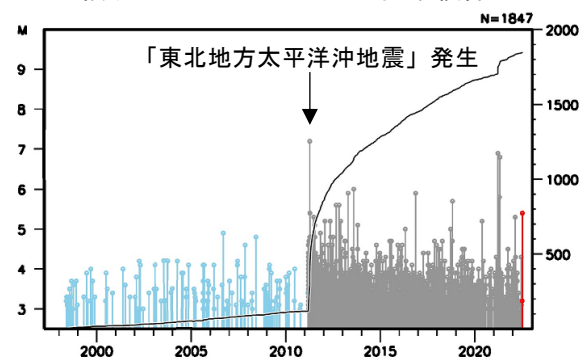
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM5.0以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生している。このうち、1978年6月12日に発生した「1978年宮城県沖地震」（M7.4、最大震度5）では、気仙沼漁港で120cm（全振幅）の津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟、半壊5,574棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内の断面図（A－B投影）「東北地方太平洋沖地震」



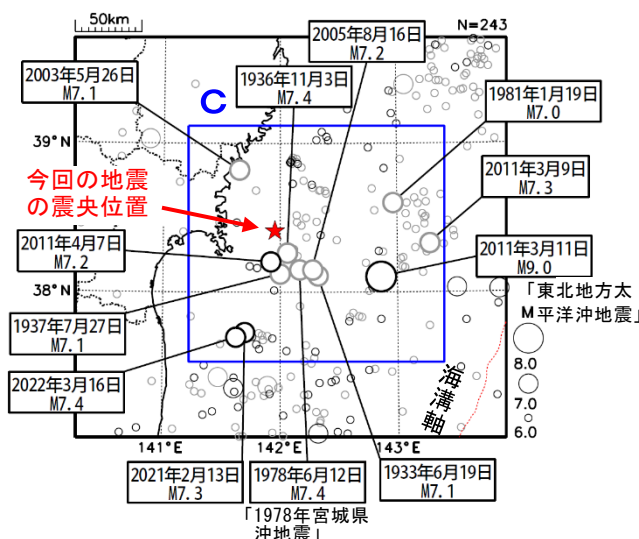
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2022年7月6日06時、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示



領域c内のM－T図

